

ブッポウソウ ブッポウソウ目ブッポウソウ科

Eurystomus orientalis (Linnaeus, 1766)

鳥取県：絶滅危惧I類(CR+EN)

環境省：絶滅危惧IB類(EN)



西伯郡南部町（西伯町） 2010.7.7／撮影：桐原佳介

■**選定理由**：県内の繁殖例が顕著に減少している。

■**特徴**：全長30 cm内外，足とくちばしは赤く，体は濃青色。夏鳥として5月初旬から落葉広葉樹や針葉樹の里山にすみ，樹洞や巣箱で繁殖する。ゲツゲツと鳴き，餌は大型の昆虫。1970年代までは県内各地で確認されていたが繁殖に必要な樹洞の減少や巣穴として利用していた木製電柱のコンクリート化のため減少した。現在は巣箱の設置により日南町，南部町では数が増してきた。

■**分布** 県内：巣箱による繁殖は日南町，南部町，三朝町で確認。八頭町では自然木で1つがい繁殖。県外：本州，四国，九州，極東ロシア，朝鮮半島，中国東北部，オーストラリア東海岸で繁殖。東南アジア等で越冬。

■**保護上の留意点**：樹洞のある大木や木製の電柱がなくなったために減少したと考えられる。巣箱の設置は有効。

■**特記事項**：鳥取県特定希少野生動植物（2002年指定）。

■**文献**：6.

執筆者：土居克夫